

和漢对照

中日对照



汉诗写作浅谈

汉诗写作浅谈
王骥
汉诗写作浅谈

〔中国〕王 骥 著

〔日本〕南條純子 译

北京大学出版社

汉诗写作浅谈

やさしい

漢詩の作り方

〔中国〕 王 骊 著
〔日本〕 南條純子 译

北京大学出版社

新登字号：（京）159号

汉诗写作浅谈
やさしい漢詩の作り方

〔中国〕 王 骥 著
〔日本〕 南条纯子 译
北京大学出版社出版
（北京大学校内）
外文印刷厂印刷

新华书店北京发行所发行 各地新华书店经售
787×1092毫米 32开本 5.125 印张 100 千字
1992年1月第一版 1992年1月第一次印刷
印数：00001—1,000册

ISBN7-301-01535-6/I·254
（80克胶版精装） 定价： 10.00 元

汉诗写作浅谈

やさしい

漢詩の作り方

【中国】王 疆 著
【日本】南條純子 译

北京大学出版社

目 录

前言.....	王 骊 (4)
一、汉诗的起源和近体诗.....	(8)
二、汉诗的起承转合法.....	(18)
三、律诗的押韵法.....	(30)
四、律诗的四声和平仄.....	(50)
五、律诗和绝句的平仄格式.....	(56)
六、平仄的变格.....	(104)
七、对和粘.....	(118)
八、拗救.....	(122)
九、对仗.....	(128)
十、写作汉诗还应注意的几个问题.....	(138)
十一、汉诗的东传和日本汉诗作品.....	(148)
译者后记.....	南條纯子 (158)

目 次

はじめに.....	王 璽 (6)
一、漢詩の起源と近体詩.....	(9)
二、漢詩の起承転結法.....	(19)
三、律詩の押韻法.....	(31)
四、律詩の四声と平仄.....	(51)
五、律詩と絶句の平仄格式.....	(57)
六、平仄の変格.....	(105)
七、対と黏.....	(119)
八、拗救.....	(123)
九、対偶.....	(129)
十、漢詩を作るにあたってさらに 注意すべきいくつかの問題.....	(139)
十一、漢詩の東方伝来と日本の漢詩作品.....	(149)
訳者あとがき.....	南條純子 (159)

前 言

过去我就听说过，中国的唐诗，也就是近体诗，在日本是深受人们喜爱的。果真如此，现在日本有不少人热心于写汉诗，至于爱好和善于吟诗的人就更多了。据说全日本各地汉诗吟诗协会的会员有六十多万人，专业和业余的吟诗爱好者有五百多万人。

我有幸在我国驻日本大使馆和驻大阪总领事馆渡过了五个年头，结识了不少中国汉诗的爱好者。京都一位朋友送给我他自己写的“一日一诗”专集，还有其他一些朋友把自己外出旅行时写的汉诗送给我看，这些诗无不引起我的钦佩。

大阪府池田市有个“吟诗连盟”，他们常常举办吟诗活动。1986年9月邀请他们到总领事馆来一起举办了一次令人难忘的吟诗会，他们吟诗真挚动情，熟操音律，有的还配以舞蹈动作，深深感动了我。后来有的朋友提出希望有一本写作汉诗入门小册子，经常拿在手中，欲写可写，欲吟可吟。有的朋友竟直接了当的向我提出，要我来承担这个任务。我想了好久，鼓起了勇气，约了我的朋友从事中国文学翻译的南条纯子女士，和我一起合作。

1987年8月由日本回国后，便着手编写《汉诗写作浅谈》。因其它事情的干扰，这本小册子写了整整一年才脱手初稿。经过古典文学专家、中国社会科学院研究员王利器先生审定后，送给了南条纯子女士，进行日文翻译。

はじめに

中国の唐詩、すなわち近体詩は、日本においても非常に愛好されていると聞いておりましたが、果たしてそのとおりで、現在日本では多くの人が漢詩を作ることに関心を傾けており、詩を吟じることを好み、またそれに長じている人はさらにたくさんおられます。日本の全国各地にある詩吟協会の会員は六十万人余りで、専門に、または趣味でやっている詩吟愛好者は五百万人余りいるとのことでした。

私は幸いにも、駐日本中国大使館と駐大阪中国総領事館で五年間生活する機会を得て、多くの漢詩愛好者と知り合いになりました。京都のある友人は自作の「一日一詩」集を送ってくれ、ある友人たちは旅行に出かけたときに作った漢詩を見せてくれました。私はこれらの詩にとっても感服しました。

大阪府の池田市に「詩吟連盟」というのがあり、日常的に詩を詠む活動をしているというので、一九八六年九月、その人たちを総領事館に招いて、忘れがたい詩吟の会を開催しました。かれらの詩の吟じかたは真摯で情に富み、音律もあざやかで、私は深く感動させられました。その後ある友人が、ある人は踊りの動作までつけて吟じ、なにか漢詩の作り方の入門書のようなものがあればいいのにと希望を出しました。そうすれば、いつも手にもっていて、

在这本小册子里我着重地介绍了中国近体诗的格律等基本知识，它如能对爱好者有点参考价值的话，将是我最大的愿望。

最后在此要衷心感谢王利器先生的热情指点和帮助，同时衷心感谢南条纯子女士所给予的合作。

王 骊

一九九一年三月

作りたいときに作り、吟じたいときに吟じることができる
というのです。そして別の一人は直接私に向かって、私が
この仕事を引き受けるよう要求しました。私はずいぶん考
えたあげく、勇気をふるいおとして引き受けることにし、
中国文学の翻訳などにたずさわっている友人の南條純子女
史と一緒に仕事をしてくれるよう約束しました。

一九八七年八月、日本から帰国すると、すぐに『やさし
い漢詩の作り方』にとりかかりましたが、諸般の事情に影
響されて、まるまる一年かかって脱稿し、古典文学の専門
家である王利器氏に見ていただいたあと、南條女史に送
り、日本語の翻訳にとりかかっていたきました。

本書は近体詩の格律などの基本的知識を重点的に紹介し
たものです。拙著が漢詩愛好者のいささかの参考にもなれ
ば、望外の喜びとするところです。

最後にこの場をお借りして、王利器氏の心のこもった助
言と協力に感謝すると同時に、南條純子女史の合作に、心
より感謝したいと思います。

王 驪

一九九一年三月

一、汉诗的起源和近体诗

中国是一个诗的国度。中国的诗歌源远流长，至今已有2800多年的历史。《诗经》和《楚辞》是中国的两部最早的诗集。

早在西周时期（公元前11世纪至公元前7世纪）朝廷就设立了派乐师收集歌谣的制度。歌谣是《诗经》最重要部分。《诗经》所收305篇作品代表着西周初年至春秋中叶大约500多年的诗歌创作。这些作品积累到300篇左右，汇编成集，大约完成在公元前600年。《诗经》中的许多优秀篇章，从多方面描写了现实生活，开创了中国诗歌的现实主义传统；它大量地运用比、兴手法，富有艺术感染力；它的语言朴素优美，音节也自然和谐。两千多年来，《诗经》对中国文学的发展起着深广的影响。

《楚辞》是西汉刘向辑的一部诗歌总集。全书以中国最早的大诗人屈原（约公元前340年至前278年）的作品为主，其余各篇也都是承袭屈赋的形式。它主要运用楚地（指湖南、湖

一、漢詩の起源と近体詩

中国は詩の国である。中国の詩歌のはじまりははるか昔にさかのぼり、すでに二千八百余年の歴史をもっている。

『詩経』と『楚辞』は中国における最古の詩集である。

早くも西周時代（西暦紀元前十一世紀から紀元前七世紀）に、朝廷は楽師を派遣して歌謡を収集させる制度を設けた。歌謡は『詩経』の最も重要な部分である。『詩経』に収められている三〇五篇の作品は、西周初年から春秋の中葉に至る約五百年余りの詩歌の創作を代表している。それらの作品が三〇〇篇ぐらい収集されるとひとつにまとめられて、約紀元前六〇〇年に編さんを完成した。『詩経』の中の多くの優れた詩は、多方面から現実生活を描写しており、中国詩歌の現実主義の伝統のはじまりとなった。それは大量に对此しきわだたせるの手法を運用し、芸術的な感動力に富んでいる。使われている言葉は素朴で優美、音節も自然に調和している。二千余年来、『詩経』は中国文学の発展に深遠な影響を及ぼしてきた。

『楚辞』は西漢の劉向が編集した詩歌の総集である。これは中国で最も初期の大詩人屈原（約紀元前三四〇年～二七八年）の作品を主に収めたもので、その他の詩も屈原の詩の形式を踏襲している。またこれは主として楚地（湖南、

北)的文学形式、方言声韵和风土物产,具有浓厚的地方色彩,故名《楚辞》。《楚辞》是屈原在学习民歌基础上创造的新诗体,它打破了《诗经》四言形式,而代之以三、四言和七、八言参差不齐的形式。《离骚》是《楚辞》的代表作。作品想像丰富,文采绚烂、结构宏伟,表现出了积极浪漫主义精神,对后世文学有极深远的影响。由于《离骚》又是屈原的代表作,后世称《楚辞》这种文体为“骚体”。

《诗经》、《楚辞》主要是四个字一句或六个字一句的诗,也就是偶字句的诗歌。《楚辞》的诗句长短参差,但去掉“兮”字,基本上也都是偶句。“汉赋”、“六朝赋”以及“骈体文”等都是在它们的基础上发展起来的。作为诗歌本身也随着时代变化而有新的发展。到西汉时期(前汉:公元前200年—公元8年),民间逐渐兴起了五个字一句的诗歌,慢慢地形成了五言诗。到了东汉时期(后汉:公元25年至220年),在文人学者当中,五言诗也盛行起来。《古诗十九首》是最早出现的成熟的五言诗。七言诗比五言诗出现得更晚一些,最早的一首七言诗是《柏梁台诗》,作者已无可考证。三国时代曹丕(公元187年至226年)的《燕歌行》是第一首完整的文人创作的七言诗。

湖北を指す)の文学形式、方言の声調、その地の風土物産をとり入れていて地方的色彩に富んでいるので、『楚辞』とよばれた。『楚辞』は屈原が民間の歌謡を学んだ基礎の上に創造した新詩体で、『詩経』の四字形式を打ち破り、それに代って三、四字と七、八字の長短ふぞろいな形式でとした。『離騷』は『楚辞』の代表作である。この作品は想像力に富み、文章は比喻と直情的に詠いあげる手法で、構成は雄大、浪漫主義の精神を積極的に表現しており、後世の文学に極めて深刻な影響を与えた。『離騷』はまた屈原の代表作でもあるので、後世の人々は『楚辞』の文体を「騷体」と称した。

『詩経』と『楚辞』は主として四字で一句或いは六字で一句を成す詩で、また対句形式の詩歌でもある。『楚辞』の詩句は長短がふぞろいであるが、「兮」の字を取り去ると、基本的にはみな対句になっている。「漢賦」「六朝賦」及び「駢体文」などはすべて、それらをもとに発展してきたものである。詩歌自体も時代の推移につれて新たな発展をみた。西漢(前漢)(西暦紀元前二〇二年～紀元八年)になると、民間ではしだいに五字を一句とする詩歌が生まれはじめ、やがて五言詩を形成していった。東漢(後漢)(西暦紀元二五年～二二〇年)になると、文人学者の間でも五言詩が盛んになってきた。『古詩十九首』は最古の完成された五言詩である。七言詩の出現は五言詩より少しおそく、最初の七言詩は『柏梁台詩』で、作者は不明である。三国時代の曹丕(紀元一八七年～二二六年)の『燕歌行』は文人が創作した最初の整った七言詩である。

汉魏六朝诗歌一般称之为古诗，包括五言和七言诗。这个时期的诗歌在句式上有所发展，但在用韵方面却显然是继承了《诗经》、《楚辞》的在最后一个字上押韵的传统。当时流行的五言诗一般是偶句末字押韵，七言诗一般是句句末字押韵。曹丕的《燕歌行》两首就是一个典型例子，这里举第一首：

秋风萧瑟天气凉，
草木摇落露为霜，
群燕辞归雁南翔。
念君客游思断肠，
慊慊思归恋故乡，
君何淹留寄他方？
贱妾茕茕守空房，
忧来思君不敢忘，
不觉泪下沾衣裳。
援琴鸣弦发清调，
短歌微吟不能长。

漢魏六朝時代の詩歌は一般に古詩といわれ、五言詩と七言詩を含んでいる。この時期の詩歌は句の構成において新たな発展をみせたが、韻律の使い方においては明らかに『詩経』『楚辞』の最後の、一字に押韻するという伝統を継承している。当時流行した五言詩は一般に偶数句の末字に押韻し、七言詩は一般に各句の末字に押韻した。曹丕の『燕歌行』二首はその典型的な例である。ここにその第一首を挙げる。

秋風蕭瑟天氣涼
草木搖落露爲霜

秋風はものさびしく大氣が^き冴え
草木枯れ落ち露は霜となり

群燕辭歸雁南翔
念君客遊思斷腸。

燕は帰りゆき雁も南に^か翔ける
旅にある君を思えば干々に乱れる
わが心

慊慊思歸戀故鄉
君何淹留寄他方？

怨み^ね他^な郷を^{ゆえ}偲ぶ君よ
何故にかくも長く異郷に留まりた
まうや

賤妾^{あるじ}斃^い霜守空房
憂來思君不敢忘

主人いぬ部屋にひとり待つこの妾^{わたし}
憂愁^{うれい}に閉ざされひたすらに君を恋
い慕い

不覺淚下霑衣裳。
援琴鳴弦發清商

いつしか涙は^{ころも}衣裳と濡らす
琴の^{いと}弦かきならせば清商の調べ起
こり

短歌微吟不能長。

のどかに歌うは難しくひきつれ声
もとぎれがち

明月皎皎照我床，
星汉西流夜未央。
牵牛织女遥相望，
尔独何事限何梁。

诗中的凉(liáng)、霜(shuāng)、翔(xiáng)、肠(cháng)、乡(xiāng)、方(fāng)、房(fáng)、忘(wàng)、裳(shāng)商(shāng)长(cháng)床(chuáng)央(yāng)、望(wàng)、梁(liáng)等，都押的是阳韵。

这时隔句押韵的七言诗也开始出现了，最早的是南梁诗人鲍照(公元414年至466年)的《拟行路难》之一和之三。

到了齐梁时代，诗体随着汉字四声的发现而发生变化，在诗歌创作中开始讲究平仄。以沈约(公元441年至513年)谢朓(公元464年至499年)为代表的“永明体”诗歌讲究声律。到了唐代，形成了一种以讲究平仄和对仗为特点的格律诗，被称作为“近体诗”。“近体诗”包括律诗和绝句，律诗是八句，有五言的(五个字一句)、有七言的(七个字一句)。律诗在用韵方面沿袭了五言古诗偶句末字押韵的传统作法，即二、四、六、八句押韵。绝句也是偶句末字押韵。